



大王のひつぎ実験航海

20周年記念講演会

2005年に実施した古墳時代の石棺輸送を再現した「大王のひつぎ実験航海」から今年で20周年の節目を迎える。手漕ぎの復元古代船「海王」で宇土から大阪まで巨大な石棺を海上輸送した一大プロジェクトの当事者たちが当時を振り返る。



令和7年(2025)

10月18日(土)

宇土市民会館 大会議室
(宇土市新小路町123)

事前申込不要 入場無料

◆14:00 ~ 15:00

開場 13:30

第1部 基調講演

演題 水運王継体と磐井の乱

講師 森田克行氏

◆15:15 ~ 16:00

第2部 パネルディスカッション

テーマ 古墳時代の船と石棺輸送

パネリスト 森田克行氏・下川伸也氏
高木恭二氏

講師 もりた かつゆき
森田 克行 氏

1950年 大阪府生まれ。

高槻市立埋蔵文化財調査センター所長、市文化財課長、高槻市立今城塚古代歴史館館長、同館及び高槻市立しろあと歴史館特別館長を歴任し、2021年から高槻市文化財アドバイザーを務める。長年にわたり、継体天皇陵とされる今城塚古墳の調査・研究に携わり、主な著書に『よみがえる大王墓 今城塚古墳』（新泉社、2011年）など。

パネリスト

しもかわ しんや
下川 伸也 氏

1960年 熊本県生まれ。

国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校（下関市）海洋生産管理学科教授、学科長を経て、2022年から同校校長を務める。「大王のひつぎ実験航海」では航海隊長として船団を指揮。

たき きょうじ
高木 恭二 氏

1951年 熊本県生まれ。

宇土市の文化財担当者として遺跡の調査・研究に従事し、文化振興課長、教育部長、宇土市民会館館長を歴任。現在は宇土市文化財保護審議会の委員長を務める。「大王のひつぎ実験航海」を発案。